



10th Anniversary

にいがたキッズプロジェクト

第10期にいがたキッズプロジェクト 活動報告書

2013年3月27日

BSN新潟放送



はじめに

今期は節目の10期。子どもたちの為に「未来にむけた種まき」を行動に変えていこうという考えのもと「信濃川ウォークラリー」を新規プロジェクトとして立ち上げました。日本一の大河「信濃川」を舞台にプログラムを作り上げ、ウォークラリーを行いながら水辺の環境を考えたり、河川の役割を学ぶキッカケ作りの場を提供できればと年間の活動が続けてまいりました。

また「グリーンカーテンプロジェクト」も今期からの新たな取り組みとしてスタート。「信濃川ウォークラリー」と両輪で取り組むことで「川」だけでなく、身の周りの環境を考える心が育まれるようにと願い、全県のご家庭を対象にゴーヤの種と栽培用のネットを配布しました。自然の力で環境を守る取り組みをキッズプロジェクトとして推進し、節電意識の啓蒙にもつなげられたものと思っております。

生物多様性をテーマにしたテレビ番組「生きものがたり」も2年目を迎え、より視聴者に興味を持ってもらえるよう鳥を中心に、新潟の様々な生きものを取り上げ、番組を通じ豊かな新潟の自然についても目をむけてもらえるよう心がけました。

また、子どもたちの想像力、豊かな感性を育てるための活動として継続してきた朗読キャラバン「読み聞かせ」や今年で3年目を迎えた「にいがたキッズプロジェクト文庫」を通じて子育て支援を視野に入れた活動も地道に続けてまいりました。

本報告書では、テレビやラジオの放送、イベントの実施概要など、活動ごとにまとめご報告いたします。

新潟県内に生まれ育つ子どもたちに、 夢と感動、そして生きる力を提供します。

にいがたキッズプロジェクトは新潟県内に生まれ育つ子どもたちに夢と感動そして生きる力を提供することを目的に2002年にスタートしました。新潟県内の子どもたちとの対話、新潟県内の子どもたちの個性の尊重、新潟県内の子どもたちの健全育成への支援、新潟県内の子どもたちの未来への貢献の4つを活動姿勢に、

1. 新潟県内の子どもたちと正面から向き合い、心豊に健やかに成長できるよう努めます。
 2. 新潟県内の子どもたちが郷土に誇りを持てる地域づくりのため、伝統を継承すると共に新しい文化の創造に寄与します。
 3. 新潟県内の子どもたちを支え育む地域づくりとその活動を支援します。
 4. 新潟県内の子どもたちが成長し、おとなになったときの地球環境を常に考え、行動します。
- という行動指針の下、様々な活動を実施してまいりました。

今年10周年のにいがたキッズプロジェクトは、新たなブランドメッセージを構築し、活動を進めてまいります。

あしたの種をまきます！

2002年のスタートから今年で10周年。にいがたキッズプロジェクトは、子どもたちの未来へ向けてさまざまな「種」をまきます。

夢の種

夢を持ち続けること、夢に向けて挑戦することの大切さを訴え、子どもたちの未来を応援します。

食育の種

健康の源は食べること。正しい食生活を送るための力を養い、幼いうちから健全な心を育んでいきます。

いのちの種

人間の命の大切さはもとより、地球上の生物がすべてつながりあい、支えあって生きているという生物多様性の問題を考えます。

エコの種

幸せな社会を実現するためには環境問題の解決は最優先課題。
エコの種をまき、エコの花を咲かせます。

キボウの種

どんな困難にぶち当たっても前を見て生きられるのは「希望」があるからです。
子育て支援をはじめとし、キボウの種をまきます。

テレビCM・PR展開

10周年目を迎えたキッズプロジェクトのブランドメッセージ **あしたの種**をまきます!を
より分かりやすく、よりイメージしやすく、を目標に全面に打ち出したCMとPRを展開。

【協賛メンバー各社オリジナルCMの制作】 ※実際OA中のテレビCMを紹介

◎テレビCM15秒

協賛メンバーオリジナル画像（この画はイメージです）



（NA）協賛メンバーオリジナルコメント



〇〇〇〇はにいがたキッズプロジェクトのメンバーです。

◎ラジオCM20秒

【テレビ30秒PR・15秒PR・イベント告知】

今なぜ「あしたの『種』」なのか、広く県民の皆様理解・認知していただくためのPRを制作。

また、この趣旨に基づいて行ったグリーンカーテンプロジェクト・信濃川ウォークラリー・クリスマスキッズフェスティバルのほかキッズ文庫絵本プレゼントや各種イベントの告知を制作。

※実際OA中のPR 2タイプを紹介（はるかのひまわり30秒・グリーンカーテンプロジェクト告知15秒）

テレビ番組展開①

にいがたキッズプロジェクト presents

生きもののがたり

放送日時 毎週水曜(ネット番組の場合を除く)
夜19:55～20:00(正味2分30秒)

内容 新潟県内の生き物、今年度は野鳥を中心に
場合によっては昆虫、魚等も紹介

監修 日本野鳥の会新潟県会長 石部久



氷河期の生き残り、国の天然記念物、絶滅危惧種のライチョウ。
火打山(標高2462m)の頂上近くの雪渓で撮影

ご報告

2012年のJNNネットワーク協議会賞 定時番組活動部門で奨励賞を受賞致しました！
野生の生き物をテーマに地道な努力で、質の高い内容を継続的に紹介していることが
認められたものです。協賛社の皆様のご理解とご協力誠にありがとうございます！！

テレビ番組展開②

2012年度は、弊社60周年の特別番組とのタイアップで「新潟遺産 未来に遺したい故郷の宝、自然部門」と共同で、7月に、新潟県内有数の高山、火打山登山を決行。重い機材を背負って2462mでの撮影に挑戦した結果を4回シリーズとして紹介しています。

また、野生で38年ぶりのヒナの巣立ちに成功した佐渡のトキの姿も捉えました。

後半は貴重なハヤブサの子育てを若鳥の巣立ちの後も含めカメラに収めました。

一つ一つの撮影を積み重ね、美しい映像にもこだわり、新潟県内でこのような生き物たちの日々があること、子育ての必死さなど、キッズプロジェクトの狙いにも合致する「いのちのドラマ」をご紹介します。



火打山 上越市と糸魚川市にまたがる。「天狗の庭」から頂上を望む。



ウグイスの仲間のメボソムシクイ
春先東南アジアから渡ってきて市街地の公園などを伝いながら山地で繁殖する。

テレビ番組展開③

＜参考 ※今年度下期の放送内容＞

トキ 今年のはじめてのヒナ

ミサゴ 華麗なダイバー

ハチクマ、サシバ 秋の空にタカ柱

ハヤブサ ① 岩で生きる

ハヤブサ ② 子育てのはじまり

ハヤブサ ③ 夫婦で子育て

ハヤブサ ④ 巣立ちビナ登場

ハヤブサ ⑤ 細心の子育て

ハヤブサ ⑥ 若鳥1羽の旅立ち

高山 ① ライチョウを探しに

高山 ② ライチョウの生活

高山 ③ 高山で生きる鳥たち

高山 ④ 生き物からのメッセージ



火打ち山で出会った高山の蝶、クジャクチョウ



獲物を狙う時には鳥類中、最速とも言われるハヤブサ



巣立ったばかりの若鷲(左)が親(右)から餌をもらう…ハヤブサの子育てはとても繊細だ

テレビ番組展開④

今後の取り組み

魚類の撮影プランを研究中、鳥についてもミニ番組の「生きものがたり」のみならずスペシャル番組ができるよう蓄積し、精度を上げていきたいと思っています。
特殊撮影も準備中なので、ご期待ください。



大佐渡山脈を背景に飛ぶトキの群れ
親と若鷄と一緒に飛んでいる38年ぶりの貴重な光景

ラジオ番組展開

■レギュラー番組:子育て応援 週刊キッズラジオ

■放送:毎週木曜 12:16頃～

「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」内

■パーソナリティ 近藤丈靖・和田朋子

■内容:お母さんのお悩みを募集し、専門家の方に意見を伺う。

また、キッズプロジェクトのイベント紹介や子供の元気な声を伝える。

■アドバイザー:

入船小地域コーディネーター 小島良子さま

にいつ子育て支援センター 育ちの森 椎谷照美さま

新潟県立大学 人間生活学部 教授 石本勝見さま

<備考>

『子育て応援』ということで、リスナーから子育てに関するお悩みなどを募集し、

プロのアドバイザーの方々に親身になってアドバイスを頂戴しています。

ブログにアップすることで、ラジオを聴けない方でも、同じ悩みのアドバイスを

知ること、解決の糸口になるのではと思います。



2013年3月21日（木）のキッズラジオ内容（ブログより）

RN: ゆめゆめさん

アドバイザー: 新潟県立大学人間生活部 石本勝見教授

お悩み: 小2の娘の好き嫌いがすごいです。給食も食べ終わるのは最後です。。。

お答え: 好き嫌いは大人になると変わることも多いので、大目にみても良いのでは？

好き嫌いは「栄養の偏り」になることが問題です。これは、学校の栄養士さん等専門家に聞いてみてください。

私は、好みは変わるので大丈夫かと思います。また、「心理的」に問題がある場合があります。

好きや嫌いや理屈ではないので、「最後まで頑張って食べた」ことを認めてあげてほめてあげましょう。

昨日より早く食べられたね、等認めることが大切です。

★BSNラジオの他、インターネットラジオやラジコでも配信しています。

朗読キャラバン「読み聞かせ」

キッズプロジェクトのスタート当初からの継続事業である朗読キャラバン。
今年も年間を通じ、BSNアナウンサーが幼稚園・保育園などを訪問し「読み聞かせ」を実施してまいりました。
今年度は読み聞かせを希望する場所へ積極的に伺う事といたしました。
次年度はHP等で募集をかけていく事を検討しています。



【今年度の実施実績】

2012年

- ・ 7/19(木) 新潟市中央区 新潟青陵幼稚園
- ・ 9/26(水) 新潟市中央区 愛泉幼稚園
- ・ 10/17(水) 村上市 村上いずみ幼稚園
村上市 村上こひつじ保育園
- ・ 11/13(火) 新潟市東区 上木戸保育園
長岡市 関原保育園
- ・ 11/14(水) 長岡市 西武保育園
長岡市 鵬幼稚園
- ・ 12/23(日)24(月祝)新潟市中央区 新潟放送
クリスマスキッズフェスティバル内にて



2013年

- ・ 2/20(水) 新潟市北区 ほのぼの保育園

読み聞かせ担当アナウンサー
田巻直子 高橋知幸 喜谷知純
磯部恵美 麦島 侑

にいがたキッズプロジェクト文庫①

「にいがたキッズプロジェクト文庫」3年目の今年度も、県内で読み聞かせや子育て支援を行う民間の団体や特別支援学級など20団体に対し、希望する各20冊の絵本とキッズプロジェクトお勧めの1冊「しんちゃんの手紙」を寄贈いたします。
今年度は選択してもらう100冊のうち、30冊を入れ替えます。



- 1) 目的
子どもたちの心をはぐくむ絵本を、一人でも多くの子どもたちに触れてもらうことと子育て支援の活動を応援する為
- 2) 寄贈する対象と団体数
新潟県内で活動中の子育てサークル並びに読み聞かせの活動をしているグループ・団体。また県内の特別支援学級も対象とし、あわせて20団体に寄贈する。
- 3) 寄贈する本の冊数と本の種類
キッズプロジェクトで選定した0歳児から小学校入学前までの子ども対象の絵本100冊の中から各団体に希望の20冊とキッズプロジェクトお勧めの1冊「しんちゃんの手紙」の計21冊
- 4) 応募方法
キッズプロジェクトのホームページから専用フォームで必要事項を書き込みメールで応募する。
- 5) 応募締切
2013年1月31日
- 6) 贈呈先の選定方法
構成メンバー、活動回数、活動内容、文庫をどう生かすかなど総合的に判断し贈呈先を選定。
- 7) 寄贈グループへの発表 贈呈式
発表 2013年2月中旬から随時 贈呈式2013年3月8日(金)14時～15時

にいがたキッズプロジェクト文庫②

<スケジュール>

- 9月中 絵本選定委員依頼
大塚千恵さん 魚沼市「絵本の家 ゆきぼうし」
公立小学校図書館司書(人選中)
- 10月31日 絵本100冊決定(30冊入れ替え)
- 12月1日 応募用ホームページUP 募集開始
- 1月31日 募集締切
- 2月上旬 当選団体最終選考会開催・当選20団体決定
当選ご案内文書発送
- 3月8日 にいがたキッズプロジェクト文庫贈呈式
※キッズプロジェクトメンバー名の入った
絵本収納用キャリーバッグを合わせて進呈。



応募用に選定した100冊の絵本は、「にいがたキッズプロジェクト推奨絵本」として応募終了後もHPで紹介してまいります。

*絵本選定のポイント

2010年にキッズ文庫の100冊を選定した時には、小学校入学前までのお子さんを対象に、良質な絵本、大人と一緒に読んでも、一人で読んでも楽しく、心に残る本ということで、3人の専門家の方に選んでいただきました。3回目の今年度、その中の30冊を入れ替えました。

本の入れ替えには、新潟市の小学校司書の田村あづさ様と、絵本の家「ゆきぼうし」(魚沼市)の大塚千絵様と田野辺淳子様にご協力いただきました。

絵本は、時代を越えて子どもたちに読み続けられる本が、不思議なほどあります。

お父さん、お母さんが読んだことのある本が、今も人気があります。子どもを引き付ける魅力があるのです。一方新しく力のある本も出てきています。

今回はそのバランスをとりいまままで同様、おおむね小学校入学前までで読める絵本で、より質のよいもの、ロングセラー、同作者の同シリーズの別の本などを入れました。

2012年 実施報告

第一回 大河津分水 <7月7日(土)>

※天候不順により中止

第二回 宮中ダム周辺（十日町市・津南町）

夏休み1泊2日スペシャルツアー

<8月8日(水)～9日(木)実施>

第三回 刈谷田川（見附市・長岡市） <9月9日(日)>

第四回 信濃川本川および通船川 <10月13日(土)>

※一部 阿賀野川

大河津分水(新潟県燕市) ※天候不順により中止



会場の概要

大河津分水は、信濃川を新潟県燕市内(分水地区)にて分流し、長岡市内(寺泊大河津地区)を経て日本海に注ぐ分水路である。全長は9.1km。川幅は分流点の分水側に設置されている大河津可動堰付近では約720mあるのに対し、河口付近では約180mとなっている。通常、川は河口へ向かうほど幅が広がるが大河津分水では逆となっている。新可動堰が去年11月に共用を開始。また大正11年(1922年)に通水し、平成12年に現在の洗堰が通水するまでの78年間稼働した旧洗堰は、登録有形文化財として平成14年2月14日に登録。

テーマ

夢の種: 構想から完成まで200年を要した大事業。
可動堰、洗堰を間近で体験し、夢を持つことの大切さを学ぶ。

実施日時

2012年7月7日(土) ※親子35組参加

実施概要

- 8:30 信濃川大河津資料館 集合・受付
- 9:00 多目的ホール 信濃川ウォークラリー の説明
大河津分水の歴史、建設工事の映画
五百川清先生(信濃川大河津資料館友の会顧問)による説明
- 10:00 大河津分水探検ウォーク開始!
- 12:00 多目的広場 昼食
*燕市の食材を使った美味しいおにぎり弁当とサラダを用意しています。
- 13:30 ミニ信濃川 セせらぎ水路、体験水路で川に入って遊ぼう!
信濃川のいきものを捕まえよう! いきもの講座
(*捕まえた生き物は観察後、川に返します。)
- 15:00 信濃川大河津資料館 解散式

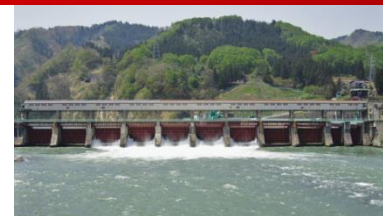


魚道観察室



体験水路

宮中ダム周辺(新潟県十日町市・津南町)



会場の概要

東日本旅客鉄道(JR東日本)が管理する企業私有ダム。高さ16.4mの重力式コンクリートダムで、河川法で規定されるダムとしては信濃川本流に建設された唯一の存在である。水力発電を目的としており、下流の千手・小千谷・新小千谷の三発電所において合計約45万kWの発電を行い、首都圏の大動脈である山手線・中央線などの運転に必要な電力の約23%を生み出している。

宮中ダムは下流に建設した千手発電所(せんじゅはつでんしょ)の取水ダムとして日本一の大河・信濃川本流に建設を開始し、1938年(昭和13年)に18年の歳月を掛けて完成した。これらダム及び西大滝ダムの完成により、上流の千曲川流域へのサケの遡上は、激減していくが、2009年3月に水門が開かれ信濃川の水量が増加、ダムの上流に遡上するサケ、アユが大幅に増加した。

実施日時

2012年8月8日(水)～9日(木)
小学2年から6年生 39名参加

テーマ

エコの種:信濃川本流の水が電気になり、首都圏・山手線等の電車の動力源となっている。
いのちの種:サケやアユなど海から川に遡上する魚の生態系を観察することができる。

実施概要

【1日目】

9:30 新潟放送 集合・受付

バス出発～燕三条・長岡駅経由

11:30 山本山高原到着

昼食&信濃川の壮大な流れを観察

14:00 日本一の規模の河岸段丘と信濃川の眺望体験

～マウンテンパーク津南から

15:00 津南ひまわり広場 ひまわり畑見学、迷路

16:30 清田山キャンプ場 夕食準備

火起こし体験(協力:なじょもん)

わいわいバーベキュー(協力:県子連)

飯ごう炊飯(無洗米)～コテージ泊

【2日目】

7:00 朝食

8:45 キャンプ場出発(2班に分けて)

9:10 宮中ダム見学

12:00 クアハウス津南 昼食

13:00 ラフティング体験!(約2時間)

※体験後にシャワー

15:30 クアハウス津南 解散式

16:00 現地出発 ～長岡・燕三条駅経由

19:30 新潟放送 到着



<夏休みスペシャルツアー>

日時:平成24年8月8日(水)~9日(木)

会場:清田山キャンプ場ほか

担当:喜谷知純アナウンサー

喜谷アナウンサーより

~1日目~

午前9時にBSNを出発し、まずはバスの中で全員にマイクをまわして自己紹介タイム。29歳だと話したら「おっさん」というニックネームをつけてくれました(涙)

お弁当タイムをはさんで、マウンテンパーク津南で日本一の河岸段丘を見学。津南ひまわり広場では、ひまわり迷路を大行進。たまたま来ていたラジオのスナッピー中継にも皆で出演。

夜はキッズたちが火起こし体験でつけた火を使ってバーベキュー。皆もりもり食べていました。ちゃんと野菜も食べるんだぞ~。

~2日目~

朝6時、まだまだ朝食まで時間があるのに、皆元気に起床。キッズたちに手を引かれ、近くの広場で10年振りに鬼ごっこ。キッズはバテない。喜谷バテバテ。そんな私に女の子グループが「ともぞう」というニックネームをつけてくれました。ちびまる子ちゃんの「おじいちゃん」という意味が。

この日は、ラフティングと宮中ダムの見学へ。

今回の目玉ラフティングでは、6~7人でボートに乗り込み、川下り！力を合わせてボートを漕いだり、川に入って泳いだり、皆の楽しそうな笑顔が印象的でした。

とても楽しかった濃かった2日間。キッズたちの夏の思い出に残ってくれて嬉しいです。



刈谷田川(新潟県見附市・長岡市)

会場の概要

信濃川の支流である刈谷田川はもともと全域で複雑に蛇行しており、川幅が狭く、流れも急で古くから度々氾濫し、洪水被害を起こし暴れ川として知られていた。このため、古くから河川改修が頻繁に行われ、特に大規模なものとしては、1964年7月7日の水害を契機として行われた河川改修で、見附市中心部の流れがほぼ東西に直線状に改修された。現在でも見附市と長岡市の市境が河道から外れて曲がりくねっている箇所があるが、これは改修前の旧河道の名残である。その後、平成16年7月新潟・福島豪雨では、大小6カ所で破堤し、旧中之島町、見附市に甚大な被害をもたらした。現在は遊水地(田んぼを活かした治水)による更なる対策も講じられ、水害を軽減の仕組みを学ぶことができる



実施日時

2012年9月9日(日)
※子どものみ20名参加

テーマ

キボウの種: 幾度となく洪水被害を受けながらも、水害克服の歩みを続けてきた。遊水地もその一例

実施概要

- 8:30 みつけ伝承館(民俗文化資料館) 集合・受付
- 9:00 刈谷田川の歴史(水害対策)について学習
 - 水害克服のここまでの歩み
 - 遊水地の仕組みについて、VTR等を視聴
- 9:45 みつけ伝承館 出発～刈谷田川ダムへ移動
- 10:30 刈谷田川ダム見学
- 11:30 フィッシングパークで釣り体験&川遊び
- 12:30 釣った魚を炭火で焼こう! ランチ
- 14:00 フィッシングパーク出発～バス移動で遊水地見学へ
- 14:30 刈谷田川(鳴鹿橋付近)で遊水地について、実際の現場を見ながら学習
- 15:30 みつけ伝承館(民俗文化資料館) 解散式



フィッシングパーク



水をたたえる「刈谷田川ダム」(ダム正面から望む)

刈谷田川ダム



遊水地イメージ図

<刈谷田川>

日時:平成24年9月9日(日)

会場:見附市・長岡市 刈谷田川

担当:麦島侑アナウンサー

前日の県内の突然の雷雨で開催が心配されましたが、当日は青空が広がり晴れ渡りました。見附伝承館では元気な子供達20人が集まりました。伝承館では2004年と去年起こった豪雨水害についての勉強が行われました。子供達の顔は真剣そのもの。自分達の身近なところで起きた自然の脅威を改めて感じていた様子でした。

その後バスで刈谷田川ダムへ。

迫力満点のダムに子供達は驚いていました。ダムは、飲み水、電気を作り、そして、洪水になっても皆が住んでいるところに水が溢れ出ないようにする防災の役割がある事を皆で学びました。

また2004年の水害の際は、ダムの水位が高さおよそ250M位あったそうで子供達と私は、その水位を想像して当時の被害の大きさを思い知りました。また、普段は入れないトンネルに入ってみたりと貴重な体験をしました。このトンネルの涼しいこと！寒いくらいでした。

そして続いては、子供達おまかせの栃尾フィッシングパークへ。

漁協組合の人に釣り方を教えてもらいながら竿に餌をつけて川釣りを楽しみました。ただ皆、餌のぶどう虫を触るのが嫌なのか、餌をつけるときだけ「麦～餌付けて～」と甘えてきました(笑)なかなか甘え上手な子供達です(笑)ランチタイムでは釣った魚を炭火で焼いて食べました。とっても美味しく、子ども達もたくさん食べました。

そしてこの日最後の見学場所、刈谷田川の遊水地へ。

遊水地とは、川の水を溢れさせて貯めさせる所をいい、2004年の水害をきっかけに刈谷田川上流に6つ作られました。その遊水地が完成した1ヶ月後に去年の7月の水害が起こったそうです。2004年を上回る大雨でしたが、被害は2004年より少なく遊水地が効果を発揮したということです。

今回の刈谷田川ウォークラリーに参加して私自身、テレビニュースや新聞でしか見ていなかったダムや遊水地を見学し、水害を体験した方から話を聞き、改めて自然の脅威を感じました。それと同時に見附市の方をはじめ多くの方が自然災害を教訓にして人々の命を守るために力を尽くしてくれていることを知りました。

これから私は忘れかけていた自然の恵みへの感謝を忘れずに1日1日大切にしようと思いました。

子供達と一緒に勉強したり遊んだり、とても有意義で楽しい一日でした。ありがとうございました。



信濃川本川および通船川(新潟市) ※一部阿賀野川



会場の概要

日本一の水量と長さを誇る信濃川が新潟市の中心街を貫流し海に注ぐ本川下流域。今も市域の1/4がゼロメートル地帯の新潟市は、かつて何度も洪水に悩まされてきたが、数多くの放水路を造ることによって現在の繁栄を築いてきた。また、阿賀野川と信濃川をつなぐ信濃川水系の河川「通船川」。新潟市を流れるこの河川、かつては多くの魚や水鳥がみられたが、高度経済成長を経て工場廃水などにより水質は大きく悪化した。だが、地域の人の努力により、川は元気と取り戻した。信濃川、阿賀野川、通船川の関係に焦点を！

実施日時

2012年10月13日(土)
親子30組60名参加【午前・午後とも15組】

テーマ

エコの種：通船川を船で探検。阿賀野川、信濃川も経由することで各川の水質・匂いなどを感じ身の周りの川や自然環境を考えてもらう

実施概要

※午後も13時集合で下記プログラム実施

- 9:00 集合・受付 ※山の下閘門排水機場に集合
- 9:30 北越紀州製紙協より乗船
 - ・小型漁船【5艘に分乗】に乗り通船川を船で探検(経路は左記)
 - ※道中(船上)の想定アトラクション
 - ・通船川・阿賀野川・信濃川の水の違いを調べてみよう！
 - ・カゴを仕掛けて魚探し
 - ・船から探すネーチャービンゴ
- 11:30 山の下閘門に到着
信濃川・通船川の水位の違いを体感、船のエレベーター！
閘門を通過し、信濃川へ
- 11:45 北越紀州製紙協に下船
山の下閘門排水機場まで徒歩移動
- 12:00 解散式・解散



<信濃川本川および通船川>

日時:平成24年10月13日(土)

会場:新潟市 山の下閘門排水機場

担当:麦島侑アナウンサー

午前・午後の2回にわけて親子で「船の旅」を楽しんでもらいました。
参加者の親子と軽い自己紹介をした後、船から建物や動物を探すビンゴ
ゲームの紙が配られたり、大潟漁協の方からライフジャケット装着の仕方を
教わり、いざ乗船。

乗船前、子供達は皆気持ちを躍らせていて、私含め参加者は船長の気分。
そして通船川探検出発～。当日は、青空が広がり日差しがたっぷり注ぎ、
気持ちよい風も吹き、船で探検する通船川は爽快感たっぷりでした。

船の道中では、子供達と今後のスポーツ界にまで話が及び楽しかったです。
ついに1つ目の閘門 津島屋閘門に到着。係りの人に閘門を開けてもらい、
川の水が流れてきて船の位置がどんどん高くなるため、遊園地のアトラク
ションに乗っているみたいでした。

2つめの閘門、山ノ下閘門は、信濃川と阿賀野川の水位を調節するのにと
ても重要な役割があり、閘門が開いた瞬間、向こう岸から一気に大量の水
が流れてきました。どんどん川の水位と船の位置が高くなり船がエレベ
ーターみたいに動くことに参加者の親子と私は大興奮でした。そして下船。

そして最後に私が紙芝居を読みました。1万年から今までの新潟をさかのぼ
る紙芝居なんです、楽しく伝えられたか少し不安・・・ただ、読み終えた後、
皆の優しい拍手に感動！自分にとっても勉強になる「船の旅」でした。





みんなでまこうあしたの「種」！ グリーンカーテンプロジェクト



主催：にいがたキッズプロジェクト 後援：新潟県教育委員会
協力：東北電力にいがた、サイタメ

自然の力で、環境を守り、エコにもなり、育てた実を食べる事で食育についても考えるきっかけになる、グリーンカーテン。キッズプロジェクトのテーマである”あしたの「種」”子ども達の未来のために、あしたの「種」をまき、育む、グリーンカーテン活動を子ども達とともに取り組んで行きたいと考えます。

キッズプロジェクトのあしたの「種」は5つ！夢・食育・いのち・キボウ・エコ。
グリーンカーテンプロジェクトは、地球温暖化や、節電を考えるきっかけとして、エコの種を一緒にまき、育てていくプロジェクトです。
みんなでお家にグリーンカーテンを作っちゃおう！！

新潟県内の中学生以下のご家庭に、ゴーヤの種(10粒) 栽培用ネットを3000セット(先着順)プレゼント！

■種の応募方法

氏名・年齢・学校名・学年・郵便番号・住所・電話番号・応募の動機を記入し、ハガキまたはHPIにいがたキッズプロジェクト事務局に応募

■募集期間

5月1日～6月20日

□種の配布場所

2012年5月8日(火)エコスタ 広島阪神戦 キッズプロジェクトブース

5月9日(水)エコスタ 広島阪神戦 キッズプロジェクトブース 2日間で約209セット配布

6月3日(日)新潟県立植物園グリーンイベント キッズプロジェクトブース 約399セット配布

□ハガキ 782セット

□HP、メール 1,116セット

□BSN受付手渡し、その他含め 合計 2,716セット配布



新潟県内に2,716の子どもがいるご家庭に2,716セットのゴーヤの種とネットが配布されました。
グリーンカーテンを育てる事によって、節電、環境への思い、植物を育てる事の体験が出来たと考えます。

キッズグリーンカーテンコンテスト

主催：にいがたキッズプロジェクト 後援：新潟県教育委員会
協力：東北電力にいがた、サイタマ

■キッズグリーンカーテンコンテストの目的

各家庭でもエコ意識の高まりにより、様々な工夫を凝らしたグリーンカーテンを作っているのをたくさん見かけるようになりました。グリーンカーテンを作る意識は浸透してきていると考えています。その自慢のグリーンカーテンを写真や絵や作文や料理にして、自分なりに表現したものをコンテストに応募していただきます。コンテストの参加により、エコ意識を高める為と、グリーンカーテンづくりを意識を持って楽しく取り組める事を目的とします。

■審査員

東北電力新潟支店 部長 山田 様

新潟県立植物園 副園長 倉重 祐二 様

財団法人新潟県環境保全事業団

新潟県地球温暖化防止活動推進センターセンター長 中野 雅夫 様

■審査

平成24年10月24日(木) 13:30～実施

審査員が応募作品の写真やコメントから、カーテンの出来、デザイン、節電の工夫、アイデア、などについて総合的に審査を行い、入賞作品を決定します。なお審査の結果該当作品が無い場合もあります。

■表彰式

平成24年11月23日(祝・金) 10:30～実施

■結果発表

コンテストの結果は個別に通知 BSNTV、ラジオ、HP

■11月27日(火)～12月2日(日) 入賞作品展を開催

東北電力グリーンプラザ ミニギャラリー



10th Anniversary
にいがたキッズプロジェクト
グリーンカーテンプロジェクト
あしたの、をまします!

キッズグリーンカーテンコンテスト

あつ〜い夏の日差しを優しく遮ってくれる、グリーンカーテンにチャレンジしている君!
僕たち、私たち、キッズが考える、グリーンカーテンを好きな形で応募してみよう!

応募対象

- ・新潟県内に住む小学生以下のお子様(小学校1・2年生及び未就学児は保護者との共同制作可)
- ・平成24年に栽培したグリーンカーテンを対象
- ・新潟県内の幼稚園、保育園、小・中学校

応募方法

キッズグリーンカーテンコンテストの応募は応募要領を添えお好きな方法でどうぞ!

写真 **作文** **絵画** **料理**

応募部門

- ・個人部門
- ・学校部門(幼稚園、保育園、小学校、中学校)

応募要領

- ・部門(学校部門は代表者)
- ・住所
- ・名前
- ・電話番号
- ・生年月日(年齢)
- ・応募の動機
- ・学校名、学年(未就学児は不要)
- ・ポイント

コンテスト応募期間
平成24年8月1日～9月30日

審査
平成24年10月中旬実施

賞、入賞数

●個人部門

金賞 1点	商品券 50,000円
銀賞 2点	商品券 30,000円
銅賞 3点	商品券 10,000円
佳作 各10点	図書カード 3,000円他

●学校部門

金賞 1点	記念品
銀賞 2点	記念品
銅賞 3点	記念品

表彰式
平成24年11月中旬予定

応募・問い合わせ先
〒951-8655 新潟市中央区川井町3-18
BSN 新潟放送内
にいがたキッズプロジェクト事務局
TEL 025-267-4111

主催 にいがたキッズプロジェクト
後援 新潟県教育委員会 **協力** 東北電力にいがた、株式会社サイタマ

【にいがたキッズプロジェクトメンバー】 イフコンハウス新潟 クリアウエーター21 音楽家グループ トーア伝達 長岡造形大学 新潟クボタ 新潟ケンベイ 新潟こども医療専門学校 新潟日報社 北陸ガス株式会社 株式会社レントオール新潟 和田グループ



キッズグリーンカーテンコンテスト

主催: にいがたキッズプロジェクト 後援: 新潟県教育委員会
協力: 東北電力にいがた、サイタメ



■TVCM告知 2012年8月6日～2012年9月15日 間 15秒告知CM
30秒告知CM

■ラジオCM告知 2012年8月6日～2012年9月15日 間 20秒告知CM

■ラジオ番組 2012年12月9日(日)しあわせの種まきまSHOW コンテスト審査取材について放送

■新潟日報掲載
2012年8月6日

The collage features three main promotional items:

- 信濃川ウォークラリー開催!** (Shinetsu River Water Festival): A flyer for a walk and water gun festival on September 9th, with a prize of 2,000 yen.
- キッズグリーンカーテンコンテスト** (Kids Green Curtain Contest): A detailed poster for the 10th Anniversary contest. It specifies the deadline for entries is September 30th, and lists prizes: 50,000 yen for the grand prize, 30,000 yen for the runner-up, and 10,000 yen for the third place. It also mentions a consolation prize of 3,000 yen.
- BSNテレビ あざって8日 夜7時放送** (BSN TV): An advertisement for a TV show on August 8th at 7 PM, featuring the contest results.

■ポスター 300枚



- * 東北電力 グリーンプラザにて掲示
- * 新潟県内の保育園、幼稚園、小学校、中学校に掲示依頼
- * サイタメ店舗にて掲示
- * BSNイベントインフォメーション掲示



キッズグリーンカーテンコンテスト

主催：にいがたキッズプロジェクト 後援：新潟県教育委員会
協力：東北電力にいがた、サイタメ



■キッズプロジェクトHPでの展開

The screenshot shows the website's header with navigation links like 'Home', 'About Us', and 'Contact'. The main banner features the 'Green Curtain Project' logo. Below, there's a section for the 2012 contest with a 'Submit Application' button. A detailed list of contest rules and prizes is visible, including a prize of 50,000 yen for the winner and 10,000 yen for the runner-up.

■キッズプロジェクトフェイスブックでの展開

The screenshot shows the Facebook page with several posts. The main post features a photo of children walking on a path and text about the contest. Below it, there are comments and shares. Another post mentions a link to the contest page and encourages participation.



キッズグリーンカーテンコンテスト

主催：にいがたキッズプロジェクト 後援：新潟県教育委員会
協力：東北電力にいがた、サイタメ



■審査の様子



■授賞式の様子



WEBサイトの展開について

- ・サイトリニューアル
- ・マルチデバイスに対応



サイトリニューアル

PC最適化



PC

スマートフォン
最適化



スマートフォン

フィーチャーフォン
最適化



フィーチャーフォン

27

キッズプロジェクト文庫 WEB展開

にいがた
キッズプロジェクト

キッズプロジェクト文庫100冊

絵本100冊の中からご希望の20冊を選択し、
「次へ進む」ボタンを押して応募フォームへお進みください



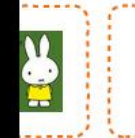
☐ あおい目のこねこ

→くわしく



☐ あかちゃんお母さんそびうかん

→くわしく



☐ エルマーのぼうけん

→くわしく



☐ エルマーのぼうけん

→くわしく



☐ おおきなおきおきのおひきごやぎ

→くわしく



☐ おおきなおいも

→くわしく



☐ おおきなかく

→くわしく



☐ おいしいのぼうけん

→くわしく



☐ おだんごぼん

→くわしく



☐ おなら

→くわしく



☐ おにぎり

→くわしく



☐ おふるだいき

→くわしく



新聞での告知展開 4月～9月

今期は新規取り組みを中心に新聞紙面でのPRも積極的に実施しました。

新聞掲載(上半期各種8回)

- 4/21(土) 26面
親子田植え体験ツアー
- 5/7(月) ラテ欄下
グリーンカーテンプロジェクト
- 5/17(木) 26面
プロジェクト・ブランドメッセージ
※次頁参照
- 6/4(月) ラテ欄下
ウォークリレー第1回
- 7/7(土) 23面
夏休み自然体験ツアー
- 7/16(日) ラテ欄下
ウォークリレー第2回
- 8/6(土) ラテ欄下
ウォークリレー第3回
グリーンカーテンコンテスト
- ※左記参照
- 9/17(祝) ラテ欄下
ウォークリレー第4回



遊水地見学や川遊び、
フィッシングパークで
釣りのアトラクションや
美味しいランチつき!



10th Anniversary
キッズプロジェクト

信濃川ウォークリレー開催!

第3回 刈谷田川(見附市)参加者募集!

実施日時 **9月9日** 午前8時30分受付
午後3時30分解散

募集人数 **お子様のみ 40名様**
対象年齢: 小学3年生～中学生 ※定員になり次第、締め切ります。

集合場所 **みつけ伝承館**
新潟県見附市学校町2-7-3 10255163-5557

参加費 **1人 2,000円**

応募方法 ホームページ、
またはハガキでご応募ください。

ウォークリレー内容(予定)
刈谷田川の歴史を知らう!学ぼう!
刈谷田川ダムをじっくり見学
フィッシングパークで釣り体験&川遊び
釣った魚を炭火で焼いて食べよう!
遊水地を知らう!

※内容は天候などにより変更になる場合があります。

企画主催/にいがたキッズプロジェクト 信濃川ウォークリレー協議会 BSN新潟放送

お問い合わせ **キッズプロジェクト事務局 TEL.025-267-4111**

にいがたキッズプロジェクトメンバー
イワコンハウス新潟 クリアアウター21 信濃薬品グループ トーア伝達 長岡造形大学 新潟クボタ
新潟ケンペイ 新潟こども医療専門学校 新潟日報社 北陸ガス株式会社 株式会社レントオール新潟 和田グループ



キッズグリーンカーテンコンテスト

■協力/東北電力にいがた 株式会社サイタメ

あつ～い夏の日差しを優しく遮ってくれる、
グリーンカーテンにチャレンジしている君!
僕たち、私たち、キッズが考える、
グリーンカーテンを好きな方法で応募してみよう!

応募対象 **新潟県在住の中学生以下のお子様**
(小学校1・2年生および未就学児は保護者との共同制作可)
※平成24年に栽培したグリーンカーテンを対象

応募方法 ホームページまたは「にいがたキッズプロジェクト事務局」へ
お問い合わせください。

応募締切 **9月30日** まで
当日消印有効

審査 10月中実施 表彰式 11月中実施

賞
●金賞 商品券 50,000円
●銀賞 商品券 30,000円
●銅賞 商品券 10,000円
●佳作 図書カード 3,000円

キッズグリーンカーテンコンテストの応募は
お好きな方法でどうぞ!

写真 絵画
作文 料理

企画主催/にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送

※お客様よりお預かりした個人情報については、当イベント以外で使用するとは一切ごさいません。

新聞での告知展開 10月～3月

- 10/5 (金) 生活面
親子稲刈り体験ツアー

にいがたキッズプロジェクト 親子稲刈り体験ツアー 農作業につなぐ 緊急追加募集!

日時 10月8日(日) 開催決定! 午前8時30分 BSN本社受付・バス出発
●添乗員同行

ところ 胎内市坪穴地区 (旧黒川村) **参加費** バス利用 大人2,000円、子ども1,500円
現地集合 大人1,500円、子ども1,000円

お申し込み先 新潟日報旅行センター TEL.025-222-1777
〒951-8116 新潟市中央区南1-6-29 (月～土9:30～17:30)

■イベント企画 ■にいがたキッズプロジェクト・BSN新聞放送 ■協力/新潟キャンベイ、農事総合法人西美つばあな、JA黒川村

- 11/30 (金) 金融経済面
親子稲刈り体験ツアー

にいがたキッズプロジェクト 12月1日から今年も募集スタート! にいがたキッズプロジェクト文庫

10th Anniversary

県内で活動中の民間の子育て支援グループなどが対象です。希望の絵本20冊+1冊「しんちゃんのランドセル」をプレゼント!

子どもたちの想像力、豊かな感性をばくむために...

にいがたキッズプロジェクトメンバー

イワコンハウス新潟 クリアウォーター21 信濃薬品グループ トーア仏壇 長岡造形大学 新潟ボクタ 新潟キャンベイ 新潟こども医療専門学校 新潟日報社 北越ガス株式会社 株式会社レントオール新潟 和田グループ (50名額)

3.11東日本大震災で被災した「しんちゃん」が癒された。そして、地域や家族、支援者との絆。笑顔で明日へ向かう「しんちゃん」に笑顔ももらう絵本です。こちらを21冊目としてプレゼントします。

お申し込み・お問い合わせ にいがたキッズ 検索

キッズページ キッズ文庫 検索

- 12/7 (金) 放送面
クリスマスキッズフェスティバル

スペシャルプログラム In DeKkY401 にいがたキッズプロジェクト 10th Anniversary

親子で楽しむ いっしょここから!生ライブ

「かなしいとき〜」で癒しの「いっしょここから」がお届けする生ライブ!

あさって12月9日

午前の部 午前11時～
午後の部 午後2時～

会場 DeKkY401 (地蔵グランドフロア) MC 田嶋優子

みなさんに「たのしいとき〜」をお届けします! 親子で楽しめる、とってもおきのアトラクションや、一足早いクリスマスプレゼントが当たるジャンケン大会もありますよ!

クリスマスキッズフェスティバル

12月23日(日)・24日(月)
午前10時～午後4時 **入場無料** (一部有料付50)

会場 BSN本社

イベントもたくさん!

シルバニアファミリーと遊ぼう! 12/24(日) 11:30～12:30 / 12/25(月) 11:30～12:30

巨大クリスマスツリーにメッセージを贈ろう! 12/24(日) 13:30～14:30

アナウンサー体験・読み聞かせ 12/24(日) 14:30～15:30

BSNイベントダイヤル TEL.025-230-8655 (月～土9:30～17:30)

BSN新潟放送創立60周年記念会

BSNラジオでは60年の歴史をこめて60周年ラジオも実施します! 12月23日(日・祝) 午前9時～25日(火) 午後6時放送

新聞での告知展開 10月～3月

- 12/21（金）生活面
クリスマスキッズフェスティバル



10th Anniversary キッズプロジェクト **クリスマスキッズフェスティバル**

高さ4.5メートル! 大きなクリスマスツリーにメッセージを飾ろう!!

12月23日(日)祝・24日(月)振 10:00～16:00

会場 BSN本社 新潟市中央区川岸町3-18 **入場無料**

シルバニアファミリーと遊ぼう! わくわくステーション&プレイコーナー
両日とも 1回目 11:30～ 2回目 14:30～

空き箱を使ってサンタさんを作ろう!
12/23のみ 1回目 11:00～ 2回目 13:00～

クリスマスミニコンサート
12/23のみ 14:00～ 新潟市ジュニア合唱団
15:30～ 新潟清心女子中学・高等学校ハンドベル部

かわいいスイーツデコをつくろう! (体験料500円)
12/24のみ 1回目 11:00～ 2回目 13:00～ 3回目 15:00～

BSN新潟放送創立60周年記念企画
BSNラジオでは60年の感謝をこめて60時間ラジオを実施します!
12月23日(日・祝)午前9時～25日(火)午後9時放送

詳細は [にいがたキッズ](#) [検索](#)

- 2/23（土）県内経済面
春休みキッズクッキング教室



10th Anniversary キッズプロジェクト **親子でチャレンジ! 春休みキッズクッキング教室**

ガスの炎ならではの、おいしい/楽しい/お料理教室に親子で参加しませんか?

3月16日(土) 午前10時30分～ **参加費無料**

会場 北陸ガス 古町ガスホール **参加** 親子8組16名(小学生と保護者)

講師 北陸ガス料理教室 砂山和子先生
BSN産地直売 アナウンサーも参加するよ!

メニュー
①ロールキャベツ(ホワイトソース)
②手作りカッターチーズのサラダ
③菜の花 プランマンジェ(いちごのソース)
④ホエードリンク

応募方法 BSNにいがたキッズプロジェクトHPからどうぞ
<http://www.kidsp.net> [にいがたキッズ](#) [検索](#)

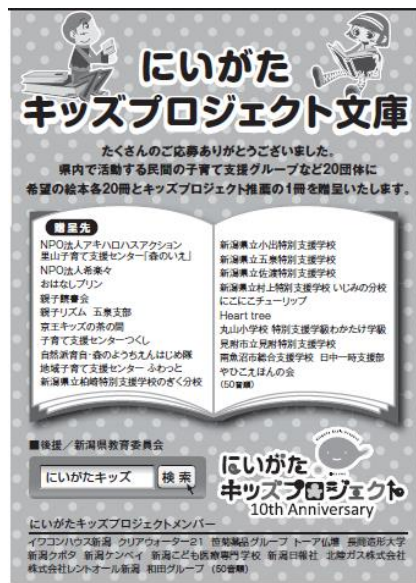
締め切り 3月6日(水)まで
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
(ご応募皆様にはハガキにてご連絡いたします)
★当日はアレキ撮影があります。予めご了承ください。

お問い合わせ BSNイベントダイヤル TEL.025-230-8655 (平日9:30～17:30)

■イベント企画/にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送 ■協力/北陸ガス株式会社 北陸酪農業協同組合連合会

新聞での告知展開 10月～3月

- 2/25 (月) TV欄下
にいがたキッズプロジェクト文庫



- 3/1 (金)
アルビ開幕特集面
生きものがたり



新聞での告知展開

にいがたキッズプロジェクト・ブランドメッセージの告知は
全面広告といたしました。

2002年のスタートから、今年で10周年。
にいがたキッズプロジェクトは子どもたちの未来へむけて



あしたの種をまきます!



グリーンカーテンプロジェクト

新潟県内の中学生以下の
お子さまがいるご家庭に、
ゴーヤの種(10粒)と
栽培用ネットをプレゼント!

先着3,000セット!

ハガキまたはホームページで
ご応募ください。

募集期間 **5月25日**まで
当日消印有効

50 〒851-8655
BSN内
キッズプロジェクト
事務局 宛

●郵便番号
●住所
●氏名
●年齢
●学校名
●学年
●電話番号
●応募の動機

※お客様よりお預かりした個人情報については、
当イベント以外で実用することは一切ございません。

にいがたキッズプロジェクトメンバー

クリアウォーター21 イワコンハウス新潟 笹菊薬品グループ トーア仏壇 長岡造形大学 新潟クボタ 新潟ケンペイ
新潟こども医療専門学校 新潟日報社 北陸ガス株式会社 株式会社レントオール新潟 和田グループ (50音順)

お問い合わせ

にいがたキッズ

檢索



新濠市中央区川岸町3-18 TEL.025-287-4111(代)
<http://www.ohbsn.com>

10th Anniversary

10th Anniversary **にいがたキッズプロジェクト** BSN 60th



各種イベント展開①

＜親子田植えツアー＞

日時 2012年5月20日(日)

会場 胎内市坪穴地区(旧黒川村)

担当アナウンサー 磯部恵美

参加者数 親子58人

◇スケジュール

9:00 BSN本社受付・バス出発

10:30 胎内市坪穴地区バス着、稲作・田植えの説明

11:00 田植え体験

12:30 昼食(おにぎり、汁物)、休憩

14:00 お米の出荷施設(カントリーエレベーター)見学

15:00 胎内市坪穴地区バス発

16:00 BSN本社着 解散

イベント企画:にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送

協力:新潟ケンベイ、農事組合法人百笑つぼあな、JA黒川村

協賛:にいがたキッズプロジェクトメンバー



＜磯部アナウンサーより＞

初夏を感じさせる青空のもと、胎内市坪穴地区で元気なキッズたちと田植えをしてきました。私にとっては初めての体験！とても楽しみにしていました♪！

今回ツアーに参加して下さった親子は58人。なかには、2度目というご家族もいらっしゃいましたよ。

地元農家「百笑つぼあな」の皆さんに植え方を教えていただき、横一列に並んだところで早速田植えスタート！ 田んぼに足を踏み入ると、ひ～んやり気持ちの良いこと。下ほど冷たかったです。そう思っているのも束の間、開始早々、ハプニングが発生！！子どもたちより先にお母さんが転んでしまい、お尻が泥んこに。さらには、蛙を捕まえてはひとを驚かせたりと、自然のなかで体験する醍醐味がいっぱい。

子どもも大人も夢中になって苗を植えること田んぼ3枚。稲の成長、秋の収穫が待ち遠しいです。

動いた後の楽しみが、おにぎりや豚汁、山菜の天ぷらなど地元のお母さんの手料理です。胎内産のお米で、自然の恵みと生産者、お母さんたちの愛情を感じてとても美味しくいただきました。温泉で汗を流したりゲームを楽しんだり、質問コーナーでは子ども達の疑問を農家の方に解いてもらいました。

その後、お米の出荷施設「カントリーエレベーター」を見学し、お米が出荷されるまでの流れを教えていただきました。あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、体験だけでなく、私たちの食に欠かせないお米について学んだり、初めて会うお友達との交流があったりと充実した一日でした。

次回は秋、「稲刈り体験ツアー」があります。この日お会いしたキッズたち、そしてみんなで植えた稲との再会を楽しみにしています。

各種イベント展開②

＜親子で作ろう！グリーンカーテン教室＞

日時 2012年6月10日(日)

会場 イワコンハウス 無添加住宅 新潟西展示場

講師 新潟県立植物園 副園長 倉重祐二さん

参加人数 親子8組



◇スケジュール

13:00 グリーンカーテンプロジェクト説明・講師紹介
倉重先生の授業

- ・絶滅危惧種
- ・温暖化とは
- ・グリーンカーテンの効用・効果

13:15 参加親子 グリーンカーテンの作業体験

- ・種の植え方、苗の育て方
- ・ネットの張り方
- ・受粉について

14:00 教室終了・解散

＜キッズプロジェクトスタッフから＞

にいがたキッズプロジェクトは県内にグリーンカーテンをひろめる活動を進めていて、今回の教室はその活動の一環です。

新潟市西区のイワコンハウス 無添加住宅 新潟西展示場を会場に実施しました。夏を前に、暑い日差しをさえぎり温度の上昇をやわらげることで注目されるグリーンカーテンの作り方を学ぼうと8組のご家族が参加してくれました。

講師の新潟県立植物園副園長倉重祐二さんから、カーテンに適したツル科植物についてや、種の植え方、苗の育て方の説明を受けた後、参加した皆さんはハサミを使ってゴーヤの苗の芽を摘む「摘芯(てきしん)」作業を体験しました。

日陰でも育てられるのか、肥料はいつ必要なのかなどの質問には倉重先生からの確な回答があり、教室に参加した皆さんにはおよそ1時間の体験つき授業に満足していただけたようです。

イベント企画:にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送

協力:イワコンハウス新潟

協賛:にいがたキッズプロジェクトメンバー



各種イベント展開③

＜夏休み自然体験日帰りバスツアーin湯沢高原アルプの里＞

日時 2012年7月25日(水)

会場 湯沢高原アルプの里(南魚沼郡湯沢町)

担当アナウンサー 麦島 侑

定員 40名(小学3年～6年生)



＜麦島アナウンサーから＞

湯沢高原アルプの里までは、バスでおよそ2時間。

朝はあいにくの雨が降っていましたが、到着した時には気持ちよく晴れ渡りました。

ここではジップラインアドベンチャー、サマーボブスレー、そしてキャンドル作りなどが体験できます。

ジップラインアドベンチャーは木と木に張られたワイヤーロープを、

滑車を使ってターザンのように降りるもので空を飛ぶ気分が味わえます。

高原の森に張り巡らされた8つのジップラインを体験しましたが、

眼下に広がる壮大な緑を見ながら滑り降りるジップラインは感動ものです。

子供達も、最初は怖そうにしていたのですが、徐々に慣れ、

最後には、スパイダーマンの様に降りたり、クルクル回りながら降りたり・・・

自然の空中散歩を存分に楽しんでいました。

◇スケジュール

7:00 BSN本社受付・バス出発

9:30 湯沢高原アルプの里 着<北陸・関越自動車道>

10:30 アクティビティ体験① ジップラインアドベンチャー

12:00 昼食

13:30 アクティビティ体験② サマーボブスレー

15:30 湯沢高原アルプの里 発<北陸・関越自動車道>

18:00 BSN本社着 解散

イベント企画:にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送

協力:湯沢高原アルプの里

協賛:にいがたキッズプロジェクトメンバー



各種イベント展開④

＜親子稲刈り体験ツアー＞

みんなで春に手植えた稲を カマで刈りに行こう！

日時 2012年10月8日(日)

会場 胎内市坪穴地区（旧黒川村）

担当アナウンサー 磯部恵美

参加人数 親子65名

◇スケジュール

8:30 BSN本社受付・バス出発

10:30 稲刈り体験

12:00 昼食(おにぎり、汁物)、休憩

16:30 胎内平散策(雨天の場合は、胎内昆虫の家)

17:00 BSN本社着 解散

＜磯部アナウンサーから＞

絶好の秋晴れの下、「稲刈り体験ツアー」が行われました。

このツアーの良さのひとつ！春の田植えに参加してくれたお友達と再会することができました。

そして今回から参加してくれたニューフェイスも加わり大勢で出かけました。

坪穴地区の田んぼに到着すると、目の前には黄金色に輝く絨毯が！

今年の猛暑を乗り越え、稲穂がたわわに実っていました。

鎌で稲を刈り、はさがけをする作業は、田植えより大変・・・

ですが、進み具合の遅いところがあると元気なこども達が手伝ってくれます。

そんな頼もしい場面を何度も見掛けました。春にも増して会話や笑い声が絶えなかったように

思います。また、私自身初めてコンバインにも乗せていただき、操作をさせていただきました。

稲刈りを終えると、楽しみにしていた新米のおにぎり♪

地元のお母さんが握ってくれ、その他芋煮汁やお漬物も美味しくいただき、その後は汗を流すため温泉へ。胎内平に移動し、緑に囲まれる広場でみんなと鬼ごっこ！

私は翌日からしばらく筋肉痛が続いています。(泣)

自身で植え、自身で収穫した、私たちにとって特別のお米。

精米した新米が手元に届くのが待ち遠しいです。

その袋には、稲穂以上に光り輝く全員集合の笑顔写真が載っていますから参加者の皆様は楽しみにしててくださいね。

イベント企画：にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送

協力：新潟ケンベイ、農事組合法人百笑つぼあな、JA黒川村

協賛：にいがたキッズプロジェクトメンバー



各種イベント展開⑤

＜親子クッキング教室＞

日時 2013年3月16日(日)
会場 北陸ガス 古町ガスホール
担当アナウンサー 磯部恵美



募集 親子8組16名(小学生と保護者)・無料
募集方法 にいがたキッズプロジェクトHP(3月6日必着)
応募多数で抽選
45組(90名)応募の中から8組当選
講師 北陸ガス料理教室講師 砂山 和子 様
助手 熊谷 敏美 様
メニュー ロールキャベツ＜ホワイトソース＞
手作りカッテージチーズのサラダ
英国風ブラマンジェ＜いちごのソース＞
ホエードリンク

イベント企画: にいがたキッズプロジェクト BSN新潟放送
協力: 北陸ガス株式会社、北陸酪農業協同組合連合会
協賛: にいがたキッズプロジェクトメンバー

＜磯部アナウンサーから＞

北陸ガス料理教室の砂山和子講師と熊谷敏美先生に作り方を教わりながら、子どもたちが中心となって調理を進めていきます。包丁や熱い鍋を握る子どもたちの一生懸命な姿、そしてその姿を見守るお母さんたち…不安や心配はありますが、そこにはきっと成長した背中が見えたことでしょう。一方、調理の最中、まるで理科の実験のような問題が出され、子どもも大人も驚いては、笑いが絶えませんでした。さて、ロールキャベツを初めて作ったというお母さんもあるなか、力を合わせ完成させた豪華なお料理がテーブルに並びました。手順も、見た目もバッチリ！あとは気になるそのお味…素晴らしい！（拍手）意外にも簡単に、焦がさず作れたホワイトソースが最高に美味しい！！サラダのチーズも牛乳から、スイーツのいちごソースも越後姫から手作りし、「美味しい♪美味しい♪」と言いながら子どもたちみ～んな残さず完食しました。嬉しいことに、子ども達が「また参加したい」と希望してくれました。またお家でも楽しくお料理のお手伝いをして下さいね♪



10th Anniversary
にいがたキッズプロジェクト

クリスマスキッズフェスティバル

にいがたキッズプロジェクト10年目の特別企画として、「クリスマスキッズフェスティバル」を開催いたしました。
開催日はクリスマス寒波の到来とも重なりましたが、2日間で約2,300人の方々の来場となりました。

今回、会場となりました新潟放送本社ロビーでは、協賛メンバー様のブースをはじめ、動物たちが繰り広げる歌と踊りのステージが好評を博し、子どもたちによる合唱やハンドベル演奏がクリスマスムードを盛り上げてくれました。BSNアナウンサーが優しく教えるアナウンサー体験や絵本の読み聞かせ、日替わりの工作教室にも多くの参加者がありました。その他、パトカー・白バイの展示・試乗コーナーも列が出来る人気でした。

また、今回会場ではクリスマスツリーに東日本大震災の被災地へのメッセージを書いて飾ってもらう企画を実施し、2日間で249組の方に参加していただきました。参加1人につき100円(計24,900円)をプロジェクトから日本ユニセフ協会を通じて被災地の子どもたちに贈り、役立ててもらいます。

メンバー企業様のご協力とご支援をありがとうございました。

- 実施日時 2012年12月23日(日・祝) 24日(月・振) 午前10時～午後4時
- 実施会場 BSN新潟放送本社(新潟市中央区)
- 主催 にいがたキッズプロジェクト/BSN新潟放送
- 協賛 にいがたキッズプロジェクトメンバー
- 後援 新潟県教育委員会
- 協力 新潟県警察本部/新潟市水族館マリニピア日本海
- 入場料 無料(一部有料体験あり)
- 入場者数 1日目 1,300人
2日目 1,000人
合計 2,300人



クリスマスキッズフェスティバル

◆告知展開と放送

- テレビスポット 11/23～12/23
 15秒 114本
- テレビ番組 BSNニュース 12/23 昼ニュース(11:30～)
 夜ニュース(21:54～)
 12/24 夜ニュース(23:45～)
- ラジオスポット 12/1～12/23
 20秒 54本
- ラジオ番組 12/16 しあわせの種まきまSHOW(17:25～)
 担当者が出演しフェスティバルの内容を紹介
- ホームページ 11/23～12/24掲載
- 新聞 12/7・12/21「新潟日報」掲載
 ※別紙にて
- 雑誌・フリーペーパー
 月刊にいがた(1月号)
 WeeK(12/7号・12/21号)
 キャレル(1月号)



◆実施内容

【1階ロビー】

- 特設ステージ 両日 23日 シルバニアファミリーのわくわくステージショー
 クリスマスミニコンサート
 ≪出演≫ 新潟市ジュニア合唱団
 新潟清心女子中学・高等学校ハンドベル

部

- キッズプロジェクトメンバーPRブース ご出展4社様(五十音順)
 イワコンハウス新潟 様
 新潟クボタ 様
 新潟日報社 様
 北陸ガス株式会社 様

- 高さ4.5メートル大きなクリスマスツリーにメッセージをかざろう！
 ≪協力≫ 新潟市水族館マリニピア日本海

【1階ラジオスタジオ】

- 仮面ライダーオーズとあそぼう！ 24日のみ

【1階テレビスタジオ】

- アナウンサー体験コーナー

【5階会議室】

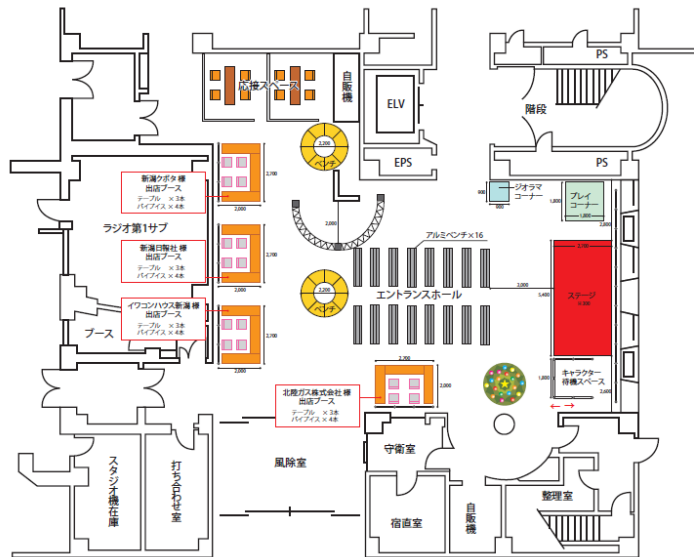
- アナウンサーによる絵本読み聞かせ
 ○タネマキスキーぬり絵に挑戦コーナー
 ○工作コーナー 23日 空き箱をつかってサンタさんをつくろう！
 ≪講師≫ 高橋和真(パッケージクラフト作家)
 24日 かわいいスイーツデコをつくろう！※有料
 ≪講師≫ 野村知子(フェイクスイーツ作家)

【正面エントランス】

- はたらく車コーナー パトカー、白バイ展示と試乗会
 ≪協力≫ 新潟県警察本部

クリスマスキッズフェスティバル

◆1階ロビー会場展開図面



来期に向けて

今期にいがたキッズプロジェクトでは、社会的に意義のあるプログラム・番組を念頭におきなが年間の活動を行ってまいりました。節目となる10年目に新たに取り組みをスタートさせた「信濃川ウォークラリー」や「グリーカーテンプロジェクト」は新潟に暮らす人々と改めて地元の自然を考えながら、自分の住む地域の環境を意識してもらい、更には自分たちが暮らす新潟のかけがえのない良さに気づき、誇りをもち、「我が新潟の未来にむけたより良い環境づくり」を考えるキッカケになればと活動を続けてまいりました。

また、放送活動についてもキッズプロジェクトの活動そのものを伝えることから、生物多様性の問題を考える内容の番組「にいがたキッズプロジェクトプレゼンツ 生きものがたり」をゴールデンタイムで視聴者(特に子ども持つご家庭に)にお届けし、番組内容も社会的にも意義のあるものを目指すことで、番組内で社名を露出するメンバー様の企業価値向上の一助になればと考え年間の放送を継続してきました。喜ばしいことに今番組が平成24年度JNNネットワーク協議会賞「定時番組活動部門奨励賞」を受賞いたしました。これはメンバー様のご支援を頂きながら、メンバー様と作り上げたキッズプロジェクトの番組(活動)が評価されたものと考えています。改めて御礼申し上げます。この番組は来期も放送を続けてまいります。生物多様性を伝えながら、キッズプロジェクトの主旨をより多くの方にメッセージとして発信していきたいと考えています。

にいがたキッズプロジェクトも来期は11年目を迎えます。「あしたの種をまきます。」というブランドメッセージを引き続き掲げながら、「より多くの県民と共に、同じ目線で」という意識を忘れずに、これまで以上に大きな輪が広がり、つながるよう勧めてまいります。

2013年3月27日

株式会社新潟放送 にいがたキッズプロジェクト運営委員会